

## 百聞は一見に如かず!

自分たちの目でバレンタイン通りの管理状態をチェックしました。

今月の『移管問題を考える会』は、先月号でお知らせしたバレンタイン通りの移管について、住民自身の目でチェックしてみよう!と調査を断行。まだまだ暑い9月の昼下がり、約2時間半かけて歩いてみました。普段、気が付かないバレンタイン通りの姿が浮かび上がってきました。



隆起と陥没?下の写真のように浮いてしまっている箇所も



オシャレなマンホールもこれでは!?



大きくなったトチの木に交差点の標識が隠れてしまっている。木が育つことは予測がつかののに〜。トチの実や鳥の巣も発見!



両側にびっしりの路駐。消防車は入れるのか?この問題の移管先は?

Check!

- ◆舗石のはがれ、ひびやタイルのガタつきが見られた。特に、11番街前~18番街前の車道側に集中。同じ通りなのに、反対側(6番街前~16番街前)は少なかった。
- ◆路上駐車対策で置かれたコーンがボロボロになって景観を損ねている。交差点のコーナーに街路樹の植柵(うえます)があると、自然に路上駐車対策になるが予算的に難しい?
- ◆街路樹が繁っていて見えない標識があった。
- ◆ベイタウンのマンホールは、周囲との調和を考え、細かく石貼りなどを施した凝った物が多いことに気づいた。それが仇になってか破損が目立つ。
- ◆新しい街区では鉄製の(いわゆるフツの)マンホールも見られた。
- ◆点字ブロックを遮ってしまうマンホールがあった。
- ◆街路樹(トチの木)の根元の土が流出してしまっている。そのためか、根元をカバーする鉄枠のビスが取れてしまい、ガタついているところがある。
- ◆マリノフトとミラマール間の路上駐車が相変わらずひどい。
- ◆センターラインが消えかかっている所がある。
- ◆メッセ大通りより海寄りでは、去年植えた街路樹が厳しい状態にある。トチの木が環境に合わないのか?
- ◆線路寄りの歩道は仮舗装?アスファルトで固めてあった。
- ◆滑りやすい素材やつまづきやすい構造上の問題も見受けられた。



上は5番街前の横断歩道。かなり敷石が落ち込んでいる。これ以上陥没すると歩行者がつまづくことも。下は街路樹のカバー。留め金が外れてしまっている。



こんな応急処置も(左)



一通り歩いた後での調査隊の結論は、「住民は住む立場から現状を把握し、行政に要望するところは要望し、自分たちでできること(例えば、街路樹の盛り土の補充、落ち葉の清掃など)は自分たちでやっていくべき」ということでした。次回を考える会は10月20日を予定しています。午前10時から10番街集会所です。初参加の方大歓迎!

### シンポジウムを開催、全戸アンケート調査も実施中

9/24(月)に『考えよう私たちの街ベイタウン』と題して、自治会連合会主催の住民シンポジウムが開催されました。本シンポジウムには、県企業庁、千葉市からの代表者他、住民約60名が参加し、これまでの『ベイタウンの管理・運営のあり方研究会』の経過説明や、ベイタウンの現状の基礎資料(ゴミ空気輸送システムの18年度維持費が1億2千万円、など)の説明があった後、意見交換が行われました。出席者からは、「入居前に説明はなかった。レベル低下が前提のような話が出ているが、レベル維持は当然のこと」「住民参加で街作りをするチャンスと捉えたい」「住民協議会を作ることが前提のようだが、具体的なメリット/デメリットが見えてこない」「県企業庁には、素晴らしい街作りのコンセプトごと千葉市に移管することをお願いしたい」といった意見が交わされました。1月には2回目のシンポジウム開催が企画されているそうです。【板東】





先月号でお知らせした打瀬中学校のEX講座が9/12(水)と9/19(水)の2日に渡って行われた。この講座は総合的な学習の一環として行われるもの。今年は1年生を対象に9、11、12月の3ヶ月、7日間をかけて行われる。「生きる力」を育むことを目指す総合学習を地域の力で実践しようと、教壇に立った「地域の先生」の奮闘を追った。【松村】

## 日本の文化「竹の文化」(鎌田さん)



日本の伝統的な素材「竹」について話したのはコアの講座「寺子屋工作ランド」で地域の小学生に工作を教えてきた鎌田さん。昔から日本で使われてきた竹の道具を見せ、日本人の生活に竹がどれほど多く使われてきたかを示し、それら竹製の道具が今では使われなくなっていることの原因を考えさせた。また実際に小刀を使って竹を削らせ、その性質を手で感じさせた。竹の性質を活かして様々な道具を生み出してきた先人の知恵と技術を子ども達は感じただろうか。

## 音楽「合唱」(森本さん)

合唱と声楽についての講座を行った森本さん。授業前は「中学で授業というのは緊張します」と語っていたが、現在も子ども達の合唱指導をする中で感じる疑問や楽しさを交えていきいきと話した。中学ではこれから秋の文化祭に向けクラス対抗の合唱練習が始まるとのこと。中学校ではタイムリーな授業になったと喜んでいました。



## 生活(ひまわり会のみなさん)



ベイトウンのシニア女性の会「ひまわり会」のみなさんは、戦中戦後の食糧難の時代や暮らしを、当時の食べ物を実際に調理し味わう体験授業を行った。「すいとん」や「サツマイモのふかしパン」など今では作られることもなくなった料理を通し、どのようにして、戦中戦後の時代を過ごしてきたかを考える。調理実習のあとには、当時の体験を聞く時間も設けられた。実際に戦中戦後を体験した方が当時のことを語る機会が少なくなっている現在では貴重な授業。

## 情報(下田さん)



現役のマルチメディア・クエイエイターとして多忙な下田さんはテレビCM制作の実際を紹介した。前半に昭和のテレビCM100選のビデオを見てCMの変遷について考え、後半ではCM制作の実例を紹介した。昭和のテレビCM100選では、子ども達よりも通りかかった先生方が熱心に画面に見入っていた。「あこがれの職業」CMクリエイターの話に子ども達の目は興味津々だった。

## 音楽(川又さん)



CM音楽の作曲や編集を行う音楽家の川又さんは、日本の伝統楽器「三味線」が中国の二胡、沖縄の蛇皮線などから生まれたことなど、楽器のルーツを紹介しながら音楽がそれを生んだ民族と深くかかわっていることを実際の動作で紹介するユニークな授業を行った。日本人と西洋人では歩き方が違うことを子ども達に実際に歩かせて感じさせ、さらにそれがリズムの違いになって音楽に現れることを気付かせる。大人の我々が聞いていても興味をそそられる授業だ。



(写真左上)「男女混合名簿の謎」のタイトルで性別による職業の差がなくなっていることを話す土堤内さん(写真左下)「篆刻(てんこく)と刃物の研ぎ方」で実際に小刀を研いでみせる小畑さん(写真上)千葉県環境センターの藤村さんは東京湾に発生する赤潮や青潮の原因を講義で説明した後、実際に花見川の水を採取し分析した。

今回のEX講座では合計8人、延べ16回の講座が開かれた。東京工業大学大学院教授の藤村さんは子ども達の理科への関心を高める授業を行った。ベイトウンニュースでも「街のオリエンテーリングマップを作ろう」と題し、ベイトウンの隠れたモニュメントなどを捜す街歩き授業を行った。EX講座はこのあと11、12月にも開催され、興味のある方は見学もできる。

## 今年もやります!! ベイタウン街路樹調査

調査シートを使い街じゅうの街路樹の元気を調べます。2001年から毎年続けている調査も今年で7回目。昨年から調査をデータ化して木の住民票を作っています。秋のひとつ、街路樹を見ながらの街歩き…ご一緒しませんか。

10月20日(土)午前9時30分ベイタウンコアアトリウム集合、10時出発。歩きやすい格好でいらしてください。

所要時間：調査とまとめて約2時間。

主催：ベイタウングリーンサム(街の緑を守る住民ボランティアグループ) 連絡先：山木 TEL.043-211-6900

## 第5回 コーラスの集い

「花時計」「混声コーラスGAFU」「女声コーラス瀬音」が年1回の演奏会に集うようになり今年で5回目を迎えるとしています。3団体とも、色々な曲との出会い、ハーモニーを作り上げる楽しさを学びながら、地域の方々との交流を深めているグループです。また、この発表の場は、私たちの励みにもなっています。20代～80代の人々が1つになり、教えの中から、まだまだ成長できる自分を発見しながら、練習を積み重ねてきた成果は、プロの演奏会とはまた違った、ホットな何かを感じて頂けると思います。

なお、第1回目より、この街のいろいろな方々に友情出演を頂いております。今回は、「ピアノ・4手」、「エレクtoon」の演奏もごございますので、こちらも楽しみにしてください。日曜日の午後、どうぞコアに足をお運びください。

(各団体とも、経験、年齢を問わず入団できますので、ご参加お待ちしております) コーラスの集い実行委員一同

日時：10月28日(日) 開場 13:30 開演 14:00

場所：幕張ベイタウン・コア ホール 入場無料

プログラム

混声コーラスGAFU	慕情、虹の彼方 他
女声コーラス瀬音	赤とんぼ、この道 他
花時計	夏のメドレー
	千葉県ゆかりの歌めぐり
瀬音&GAFU	明日があるさ、千の風になって 他

指揮：山口正士・佐藤柳、ピアノ：澤田仁香・永木真紀

お問い合わせ：花藤(211-7740)

## ウインターコンサート出場者募集

第12回ベイタウン音楽会(2007ウインターコンサート)の出場者を募集しています。ソロ・アンサンブル・合唱など楽器・ジャンルは問いません。

音楽に包まれた楽しい1日を過ごしませんか?

日時：12月16日(日) 出場時間をご相談に応じます。

場所：ベイタウンコア 音楽ホール

出場希望の方は、10月末日までにご連絡下さい。

TEL/FAX:043-211-6008(林)

## マリンドッキで人身事故発生

9月5日朝、ベイタウンから駅に向かうマリンドッキの上り坂を歩いていた女性(ベイタウン在住)が後方から来た自転車に追突され転倒。切傷、打撲、腰捻挫で全治2週間の怪我と診断された。自転車に乗っていたのも、同じベイタウン在住の高校生。

被害を受けた女性は当日重要な仕事があったが、家まで戻り、応急処置をして出直したため、大事な仕事に1時間遅れてしまったという。「たかが自転車と言っても、乗り方によっては凶器となり、打ち所によっては被害者/加害者ともに、取り返しの付かない傷が残る可能性もあります。ベイタウン住民同士が互いに被害者と加害者になるようなことがないように、マリンドッキでの自転車走行禁止のルールが守られることを切に望んでいます」(被害女性)。

## 君もスラムダンク!ミニバスケットチーム「リトルファイブ」

日曜日の午後、海浜打瀬小学校のアリーナ近くを通りかかると「ナイスシュート」「ファイト」と元気な声が聞こえてきます。小学生のミニバスケットクラブ「リトルファイブ」の練習です。覗いてみると男子、女子あわせて30人ほどがアリーナの2つのコートに分かれて練習していました。

リトルファイブは1998年に幕張南小学校で創立されたミニバスケットのチームです。創立以来のコーチ高橋さん(現高浜中職員)によると、当時は千葉市でもミニバスケットが学校教科で、多くの小学校にチームがあったそうです。そう言えば、千葉市の小学校では秋の球技大会で、男子がサッカー、女子はバスケットを種目に学校間で対抗試合をしています、これもその名残りとのことでした。

女子のひとりに「コーチはやさしい?」と聞いてみると、「うーん」としばらく考え「やさしいけれど、時々きびしい」とのこと。バスケットという、元バスケット部員の記者には中学高校の部活のスパルタンなイメージが浮かびますが、小学生のチームにはそんな厳しさはないようです。

リトルファイブの練習日は週に5日ほど(打瀬・幕張南あわせて)

問い合わせ先:08066007299(男子、小川)

little\_kono@nifmail.jp(女子、河野)



## 海浜幕張公園'07秋祭り開催

日時:10月7日(日)

場所:幕張海浜公園 DEブロック

11:45より参加無料のハロウィンパレードを行います。

参加者には素敵なトリーツをプレゼント!!



## 10月のコア・イベント

10/20  
(土)

寺子屋工作ランド

「木の実笛(ふえ)」

時間:9:30~

場所:ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの:小刀、工作用具

参加費:50円(材料費)見本をコアの掲示板に展示しています。

10/21  
(日)

第55回ファツィオリの会

時間:9:30~11:30

場所:ベイタウン・コア 音楽ホール

月に一度のフルコンサートグランドピアノ「ファツィオリ」を弾ける会です。

もちろんピアノ以外の楽器や歌などでも大歓迎です。

また、お一人で弾いてみたい方には、非公開にもできます。

申し込み締め切り日:10月14日(日)

連絡先:TEL/FAX:043-211-0350(須原)